

# 令和2年度 環境人材育成教育プログラム 授業計画

令和2年4月

(注) 授業の順番は変更することがあります。

## 【学域／副専攻「環境学」】

### 環境・生命・倫理 前期木曜4コマ／教室：B3棟118室

回	月日	テーマ	担当
1	5月7日	オリエンテーション	大塚 耕司
		サヘル地域における「砂漠化」言説の構築とその帰結	宮脇 幸生
2	5月14日	アフリカにおける環境思想と環境倫理	宮脇 幸生
3	5月21日	女性生殖器切除絶育運動と草の根の抵抗	宮脇 幸生
4	5月28日	NGOは命と環境の守護者になることはできるのか？	宮脇 幸生
5	6月4日	エチオピアにおける土地収奪と牧畜民の対応	宮脇 幸生
6	6月11日	「長期脳死」問題が明らかにした「生命と死」をめぐる臓器移植の問題	山崎 真也
7	6月18日	「生殖補助技術」が開示した親子問題、生殖の脱セックス化と商品化の問題	山崎 真也
8	6月25日	環境と生命の交点——福島原発事故と小原甲狀腺がん多発の問題	山崎 真也
9	7月2日	再生医学研究（クローン技術等）の研究倫理の問題	山崎 真也
10	7月9日	「環境」とは何か？	上柿 崇英
11	7月16日	「自然」、「エコ」とは何か？	上柿 崇英
12	7月30日	環境と生命の交点——福島原発事故と小原甲狀腺がん多発の問題	上柿 崇英
		「持続可能」とは何か？	上柿 崇英

### 環境学と社会科学への招待 後期木4コマ／教室：B3棟117室

回	月日	テーマ	担当
1	10月1日	イントロダクション	遠藤 崇浩
2	10月8日	経済活動と環境	遠藤 崇浩
3	10月15日	環境問題の性質	遠藤 崇浩
4	10月22日	環境問題と環境問題	遠藤 崇浩
5	10月29日	環境法の基本的な考え方	千葉 直愛
6	11月5日	環境保護と法政策	千葉 直愛
7	11月12日	環境保護と裁判	千葉 直愛
8	11月19日	経営と環境戦略	津戸 正広 (大阪ガス)
9	11月26日	経営と持続可能性	津戸 正広 (大阪ガス)
10	12月3日	企業経営と環境	津戸 正広 (大阪ガス)
11	12月10日	企業経営と環境	津戸 正広 (大阪ガス)
12	12月17日	環境学とは何か？	津戸 正広
13	12月24日	環境学と経済発展	津戸 正広
14	1月14日	環境学と社会学	津戸 正広
15	1月21日	環境学と社会学	津戸 正広

### 自然環境学概論 後期木5コマ／教室：B3棟117室

回	月日	テーマ	担当	
1	10月1日	人間活動と環境への影響①	地球の自然と環境問題、講義の導入	横山 良平
2	10月8日	自然環境と生態系①	生態系の概念	北宅 善昭
3	10月15日	地球環境の化学	地球環境の化学	竹中 規訓
4	10月22日	人間活動と環境への影響②	手付かずの自然—南極の科学	竹中 規訓
5	10月29日	自然エネルギーの発生と利用	自然エネルギーの発生と利用	横山 良平
6	11月5日	環境修復と自然再生	生態系の機能と遷移	平井 規央
7	11月12日	環境修復と自然再生	生物多様性とその危機要因	平井 規央
8	11月19日	環境修復と自然再生	生物多様性のモニタリングと保全	平井 規央
9	11月26日	持続可能性と循環型社会	産業活動と資源循環	徳本 勇人
10	12月3日	持続可能性と循環型社会	都市と物質循環	徳本 勇人
11	12月10日	自然環境と生態系②	生態系における物質循環	北宅 善昭
12	12月17日	自然環境と生態系②	生態系の現状と保全	北宅 善昭
13	12月24日	自然環境と生態系②	バイオマスの利用	北宅 善昭
14	1月14日	人間活動と環境への影響③	地表面のエネルギーバランス	吉田 篤正
15	1月21日	人間活動と環境への影響③	都市熱環境の改善対策	吉田 篤正

### 地域環境活動演習 通年 割外

回	月日	テーマ	担当	
1	6月6日	環境活動の重要性	環境教育・環境学習の重要性について講義する。	大塚 耕司
2		グループ分け	1グループ4～10名で構成されるグループに分ける。(6グループ程度を想定)	
3	6月～11月	環境活動企画	グループごとに環境活動の目的や実践方法について企画する。	大塚 耕司 遠藤 崇浩 平井 規央 上田 昇平 後藤 清史 北田 博昭 山本 達也
4		環境活動計画	グループごとに環境活動の具体的な内容や運営方法について計画する。	
5		環境活動実践 (他機関との調整)	グループごとに連携協力機関との調整等を行う。	
6		環境活動実践 (他機関との調整)	グループごとに連携協力機関との調整等を行う。	
7		環境活動実践 (他機関との調整)	グループごとに連携協力機関との調整等を行う。	
8		環境活動実践 (他機関との調整)	グループごとに連携協力機関との調整等を行う。	
9		環境活動実践 (他機関との調整)	グループごとに連携協力機関との調整等を行う。	
10		環境活動実践 (他機関との調整)	グループごとに連携協力機関との調整等を行う。	
11		環境活動実践 (他機関との調整)	グループごとに連携協力機関との調整等を行う。	
12		環境活動実践 (他機関との調整)	グループごとに連携協力機関との調整等を行う。	
13	環境活動実践 (他機関との調整)	グループごとに環境活動の実施する。		
14	12月12日	環境活動成果のまとめ	グループごとに環境活動の成果について取りまとめる。	
15	12月12日	環境活動成果発表準備	グループごとに環境活動の成果発表 (プレゼンテーション) の準備を行う。	
16	12月25日	最終報告提出	グループごとに環境活動の成果発表 (プレゼンテーション) を行う。また、ポートフォリオを提出する。	
17	12月25日	最終報告提出	活動報告書を提出する。	大塚 耕司

6月6日(土)、12月12日(土)の教室はA6棟303(ラーニングcommons)

## 【大学院／「国際環境活動プログラム」】

### 国際環境学特論 前期木3コマ／(A5棟204教室)A6棟303室

回	月日	テーマ	担当	
1	5月7日	オリエンテーション	大塚 耕司	
2	5月14日	アジアの感染症	アジアの国々における感染症とその感染予防対策	山崎 伸二
3	5月21日	暮らしの変化と環境問題	身近な暮らしの変化とそれにより発生した環境問題	中村 治
4	5月28日	アジア諸国の環境問題と日本の関わり	日本における自然観と植林事業、国家イメージや国家間の偏見	杉山 雅夫
5	6月4日	アジア諸国の環境問題と日本の関わり	日本とアジアにおける市場経済の結び付き、グローバルな影響と資源配分	杉山 雅夫
6	6月11日	国際的な環境問題における環境行政の役割	地方自治体における環境行政と国際協力(1)	大塚 耕司 (府立環農水研)
7	6月18日	国際的な環境問題における環境行政の役割	地方自治体における環境行政と国際協力(2)	大塚 耕司 (府立環農水研)
8	6月25日	国際的な環境問題における環境行政の役割	地方自治体における環境行政と国際協力(3)	大塚 耕司 (府立環農水研)
9	7月2日	企業の取り組み事例	低炭素社会実現に向けた企業の取り組み	大塚 耕司 (関西電力)
10	7月9日	気候変動対策と開発協力	気候変動対策の国際的な枠組み	大塚 耕司 (JICA)
11	7月16日	環境問題への教育的アプローチとその国際的潮流	環境教育からESDへ/実践！体験！ESD (ワーク1)	若林 身歌
12	7月30日	環境問題への教育的アプローチとその国際的潮流	実践！体験！ESD (ワーク2)	若林 身歌

第2回以降の教室はA6棟303 (ラーニングcommons)

### 環境コミュニケーション特論 後期 火3コマ／A5棟306教室

回	月日	テーマ	担当	
1	9月29日	講義ガイダンスおよびイントロダクション	竹中 規訓	
2	10月6日	環境に関する基礎英語	基礎コミュニケーション英語と環境英語	竹中 規訓
3	10月13日	環境に関する基礎英語	コミュニケーション英語	竹中 規訓
4	10月20日	環境に関する基礎英語	環境英語の聞き取りと英語でのディスカッション	竹中 規訓
5	10月27日	ベトナムの歴史、文化、言語	ベトナム語会話入門1	吉本 康子
6	11月10日	ベトナムの歴史、文化、言語	ベトナム語会話入門2	吉本 康子
7	11月17日	ベトナムの歴史、文化、言語	ベトナムの歴史と文化	吉本 康子
8	11月24日	ベトナムの歴史、文化、言語	ベトナムの対外関係と日本	吉本 康子
9	12月1日	ベトナムおよび周辺国の環境問題	ベトナムにおける大気汚染及び水質汚濁の現状	竹中 規訓
10	12月8日	ベトナムおよび周辺国の環境問題	ベトナム小中学生への環境教育	大塚 耕司
11	12月15日	ベトナムおよび周辺国の環境問題	ベトナムの森林環境	北宅 善昭
12	12月22日	国際環境活動の模擬演習	模擬環境保護活動演習1	竹中 規訓
13	1月12日	国際環境活動の模擬演習	模擬環境保護活動演習2	竹中 規訓
14	1月19日	国際環境活動の模擬演習	発表準備	竹中 規訓
15	1月26日	国際環境活動の模擬演習	発表会	竹中 規訓

### 国際環境活動特別演習 通年 割外

回	月日	テーマ	担当		
1	6月13日	環境活動の重要性	国際環境教育・環境学習の重要性について講義する。	大塚 耕司	
2		グループ分け	1グループ4～5名で構成されるグループに分ける。(2グループ程度を想定)		
3	6月～11月	環境活動企画	グループごとに環境活動の目的や実践方法について企画する。	大塚 耕司 北宅 善昭 竹中 規訓	
4		環境活動計画	グループごとに環境活動の具体的な内容や運営方法について計画する。		
5		環境活動実践 (他機関との調整)	グループごとに連携協力機関との調整等を行う。		
6		環境活動実践 (他機関との調整)	グループごとに連携協力機関との調整等を行う。		
7		環境活動実践 (他機関との調整)	グループごとに連携協力機関との調整等を行う。		
8		環境活動実践 (他機関との調整)	グループごとに連携協力機関との調整等を行う。		
9		環境活動実践 (他機関との調整)	グループごとに連携協力機関との調整等を行う。		
10		環境活動実践 (他機関との調整)	グループごとに環境活動の実施する。		
11		環境活動実践 (他機関との調整)	グループごとに環境活動の実施する。		
12		環境活動実践 (他機関との調整)	グループごとに環境活動の実施する。		
13	環境活動実践 (他機関との調整)	グループごとに環境活動の実施する。			
14	12月12日	環境活動成果のまとめ	グループごとに環境活動の成果について取りまとめる。		
15	12月12日	環境活動成果発表準備	グループごとに環境活動の成果発表 (プレゼンテーション) の準備を行う。		
16	12月25日	最終報告提出	グループごとに環境活動の成果発表 (プレゼンテーション) を行う。また、ポートフォリオを提出する。		
17	12月25日	最終報告提出	活動報告書を提出する。	大塚 耕司	

6月13日(土)、12月12日(土)の教室はA6棟303(ラーニングcommons)